

平成28年度 生活科授業改善推進プラン

第1学年

<児童の実態>

好奇心が旺盛で、意欲的に学習をしている。学校や友達のこと、自然や生き物、季節の変化について、気付いたことや不思議だと思ったことを積極的に見つけて発言している。生活科の学習を通して、新しい友達の輪をクラスや隣のクラス、2年生、6年生との社会的な関わりを少しずつ広げることができた。学校探検では、2年生とペアになり、教室や校庭等の案内をしてもらった。自然にも親しみ、季節を見つける楽しさを実感することができた。あさがおを育てる活動では、観察の方法だけでなく、植物が成長することへの気付きを増やすことができた。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定] 具体的な活動や経験を通して、児童一人一人が楽しみ、主体的に学習するような課題を設定する。</p> <p>[学習形態] 活動内容に合わせて、個・ペア・小グループ・全体等、実態に合わせて形態を工夫するようにする。</p> <p>[指示・支援] 簡潔で短い指示を出し、視覚的にも活動が見通せるようにする。</p> <p>[場の工夫・学習資料] 活動内容に合わせて場の工夫をする。教室に限らず、校庭や体育館、けやきの森など活動の幅を広げる。 児童が興味関心を持てるような学習資料を提示する。</p> <p>[評価の方法] 学習カード・行動観察から評価をする。 気付きを見取ることができるような学習カードを活用する。</p>	<p>[学習のねらいの明確化] 学習カードにめあて・調べてわかったこと・振り返り等を書かせる。児童一人一人に目的意識をもたせる。</p> <p>[学習形態の工夫] 活動内容に合わせて学習形態を工夫する。かかわり合いを通して気付きが生まれるようにする。 他学年、他学級とも交流する機会を多く設ける。</p> <p>[指示・支援] 児童の願いやアイデアから学習過程をつくれるようにする。児童の気付きの質を高められるような助言を心がける。活動の流れを示すようにする。</p> <p>[場の工夫・学習資料] 児童の実態を的確にとらえ、児童の願いに応じた環境・資料を提示する。体験的な学習ができるような場の設定をする。</p> <p>[評価の工夫] 一時間の重点評価項目を定め、学習カード・行動観察から見とり、次の学習に行かせるようにする。</p>	<p>[補充的な学習指導] 社会・自然体験については、校内や周辺地域で実践可能なものを多く取り入れる。(白山神社、小石川植物園)また、地域の方々のかかわり合うように工夫する。</p> <p>[発展的な学習指導] 自分の思いに気付いている子に対しては、客観的事実や自分以外の人の思いなど、より質の高い気付きができるよう、児童の思考を促せるような助言をする。</p>

第2学年

<児童の実態>

どの児童も身の回りの地域や自然に興味や意欲をもって楽しく学習に取り組むことができている。学校探検では、自分たちが去年してもらったことを思い出しながら、1年生に優しく案内することができた。町たんけんでは、自分たちの町にあるお店や施設について調べたことで新たな発見をし、伝え合う活動ができた。植物・動物の観察では、実際に育てることで生き物に親しみをもち、様子や成長を意欲的に観察していた。また、観察カード、ポスター、新聞等様々な発表方法でまとめることができた。楽しく取り組んでいる半面、調べたり観察したりしながら自分で色々なことに気付き、考えたことを表現する力に個人差がある。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定] 児童が体験を通して学びを得られるような課題を設定する。</p> <p>[学習形態] 内容によって、ペア・グループ・全体など形態を変え、グループングを工夫し関わり合いから学べる授業を実践する。</p> <p>[指示・支援] 簡潔で短い指示を出し、児童の活動する時間を確保する。</p> <p>[場の工夫・学習資料] 児童が意欲をもって取り組めるよう、地域等の協力を得ながら、体験活動を充実させ、様々な発表方法やまとめ方を考える。</p> <p>[評価の方法] カード類・行動観察から評価をする。</p>	<p>[学習のねらいの明確化] 毎単元、毎時間に学習のめあてを明確にし、何について調べればよいのかを考え、児童に目的意識をもたせる。</p> <p>[学習形態の工夫] 活動の特性に適した学習形態を適用する。グループングを工夫し、児童間の関わり合いから気付きが生まれるようにする。</p> <p>[指示・支援] 児童の願いやアイデアから学習過程をつくれるようにする。児童の気付きの質を高められるような助言を心がける。</p> <p>[場の工夫・学習資料] 児童の実態を的確にとらえ、児童の願いに応じた環境・資料を提示する。体験的な学習ができるような場の設定をする。また、カード・新聞・ポスター・紙芝居等様々なまとめ方を提示する。</p> <p>[評価の工夫] 単元、毎時間の評価基準を明確にする。一時間の重点評価項目を定め、カード類・行動観察から見とり、次の学習に進ませるようにする。</p>	<p>[補充的な学習指導] 季節ごとの自然体験では、本校や周辺地域で実践可能なものを多く取り入れる。 また、地域の特色を生かす。</p> <p>[発展的な学習指導] 自分の思いに気付いている子に対しては、客観的事実や自分以外の人の思いなど、より質の高い気付きができるよう、児童の思考を促せるような助言をする。</p>